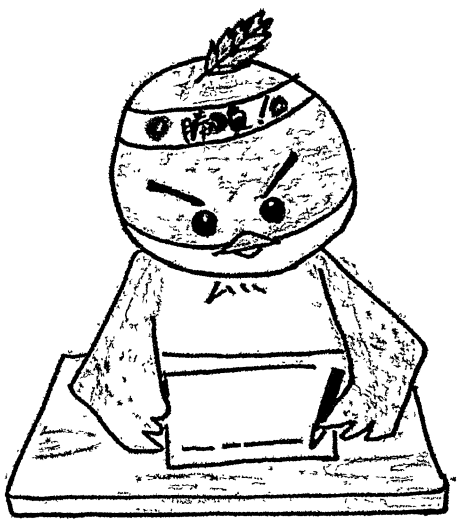
令和８年度

学習の手引き



西東京市立田無第三中学校

３年　　組　　番　氏名

～目次～

はじめに ・・・ 1

学習の心構え ・・・ 1

定期考査について ・・・ 2

定期考査規定 ・・・ 3

各教科のページ

国語 ・・・ 4

社会 ・・・ 6

数学 ・・・ 8

理科 ・・・ 10

音楽 ・・・ 12

美術 ・・・ 14

保健体育 ・・・ 16

技術 ・・・ 18

家庭 ・・・ 20

英語 ・・・ 22

田無第三中学校　定期考査規定

1　朝学活後、机の中は空にし、鞄や机脇の荷物を教室の後ろに整理して並べる。
（鞄の口は閉める）

2　予鈴までに、出席番号順の自席に座り、静かに待つ。（トイレ等も済ませておく）

3　机上には、鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム及び、各教科で指定のある用具
（定規・コンパス等）のみ出しておく。

4　下敷きは使用しない。（机上が傷ついている場合は、申し出て使用の許可を得る）

5　解答用紙や問題用紙を配り始めたら、静かに待つ。問題用紙は解答用紙の下に入れる。

6　試験監督から試験開始の指示が出たら、最初に解答用紙に学年、学級、出席番号、
氏名を丁寧に記入する。（無記名や不明瞭だと、採点されない場合もある）

7　解答用紙が大きい場合は半分に折るなど、**周りに見えないようにする。**
カンニングなどの不正行為は絶対にしない。また、疑われるような行動もとらない。
（きょろきょろと周りを見る、話しかける、物の貸し借りをする等）
※　万が一、不正行為が発覚した場合は、原則として点数はつきません。

8　試験開始時、試験で使用するものは机上に置き、机の中には何も入れない。

9　試験中、物を落とした場合は自分で拾わず、静かに手を挙げて試験監督の指示に従う。

10　試験問題で不明な点は、教科担当が回って来たときに質問する。

11　体調が悪くなった場合は、静かに手を挙げて試験監督に申し出る。
**※万が一、試験中に途中退室する際は、試験監督にその旨を伝える。退室後の対応に
ついては、試験監督の指示を仰ぐ。**
最後まで受験できるよう、体調管理はしっかり行うこと。

12　試験終了のチャイムが鳴ったら解答を止め、速やかに筆記用具を机上に置く。

13　試験監督の指示で、一番後ろの生徒は解答用紙を出席番号順になるように回収する。
※　その他の生徒は、着席したまま静かに待つ。

14　試験監督が、回収された解答用紙の確認を行っている間は、自席にて静かに待機する。
※　解答用紙確認時間終了のチャイムと同時に解散する。

～令和3年　5月　改定～

定期考査について

定期考査の目的は、授業で学習した内容をどれだけ身に付けているのかを確認することです。また、自分の学習に取り組む姿を振り返り、目標や計画を見直したり学習方法を改善したりする機会にすることです。

定期考査は、自らの学習方法を見直し、より良い方向に改善するチャンスです。次のポイントを意識してみましょう。

定期考査を通して見直すポイント

1 学習計画を見直すこと

事前に立てた学習計画が、目標を達成するための計画であったかを振り返ります。うまくいかなかった部分があれば、時間の使い方や勉強方法を見直しして、次回に向けて、どのような学習にどのくらいの時間が効果的なのかを確認しておきましょう。

2 授業の取り組み方を見直すこと

授業に臨む姿勢について見直してみましょう。

- ○ 先生の説明や友達の発言・発表をしっかり聞いているか
- ○ 繰り返し説明や強調して指導を受けたところは何か
- ○ 授業の内容を振り返ることができるように、ノートが作られているか

3 ケアレスミスを見直すこと

テスト中の不注意なミスや計算ミスがあった場合、何が原因だったのかを振り返り、改善策を考えましょう。問題を解いた後に見直しの時間を設ける習慣を身に付けると、同じミスを防ぐことができます。

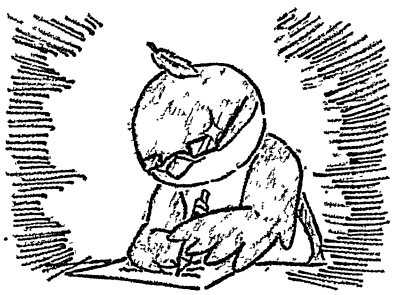
		実施日	実施教科
一学期	期末	6月17日（水） 18日（木） 19日（金）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家
二学期	中間	9月17日（木） 18日（金）	国語・社会・数学・理科・英語
	期末	11月11日（水） 12日（木） 13日（金）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家
三学期	学年末	2月22日(月)(1,2年のみ) 24日(水) 25日(木)	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家 （1，2年のみ）

はじめに

この学習の手引きは、みなさんが日々の学習をよりよく進めるためのガイドです。授業の受け方や家庭学習のポイント、定期考査に向けた取り組み方など各教科で大切にしてほしいことをまとめています。

学習は先生から教わるだけでなく、自分で考え、選び、行動することで深まります。

この手引きを参考にしながら、自分に合った学び方を見付け、主体的に学習に取り組んでいきましょう。



学習の心構え

○学びの主人公は自分

授業は「聞く時間」ではなく、「考える時間」です。
先生に教えてもらうだけでなく、自分から学び取ることを大切にしましょう。

○学びを深める５つのポイント

①わからないを大切に

- 「わからない」は成長のチャンス
- 間違えても大丈夫
- 疑問を持つことが学びのスタート

②まず自分で考える

- 予想や仮説を立てる
- 少しでも自分の考えをもつ
- すぐに答えを聞かない

③仲間と学ぶ

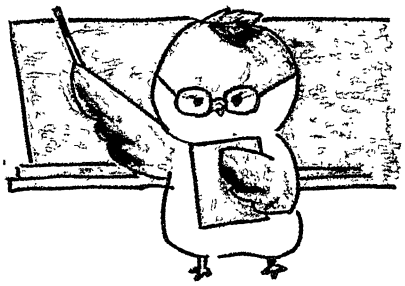
- 友達の考えを聞く
- 自分の考えを伝える
- 互いの意見を認め合う

④振り返る

- 「何がわかったか」
- 「どうやってわかったか」
  →次の学びにつなげる

⑤準備と習慣

- 忘れものをしない
- 集中できる姿勢をつくる
- 家庭学習とつなげる



○三中が大切にしている学び

- 自分の課題を見付け、解決方法を選んで、積極的に学ぶ。
- デジタルを活用するなど、意見交換することを通して、自分の学びを深める。
- 自分で学習を振り返って、学習の内容や方法を評価、改善をする。

３学年　国　語

授業の受け方

⑦　**しっかり聞く・考える**…先生の話や友達の意見をよく聞き、自分の意見を深めよう。特に物語や説明文では、登場人物の心情や筆者の意図を考えましょう。

⑧ **工夫して文章をまとめる**…おさえるべきポイント考えて文章をよく読み、まとめましょう。まとめるときは、ほかの人のまとめも参考にしましょう。

⑨　**積極的に発言・質問する**…わからないことをそのままにせず、質問することが大切です。また、自分の意見を発表することで、理解が深まり、考える力も鍛えられます。

家庭学習のポイント

⑦　**漢字練習・意味調べを丁寧に**…漢字は意味や使い方も確認し、普段使えるようになるまで練習しましょう。また、言葉の意味を辞書で調べて自分の言葉でまとめると、理解が深まります。

⑧　**まとめの見直し・整理をする**…授業で書いたまとめを見返し、不足していることを書き足して整理しましょう。まとめを最後までやって見直すと理解が深まり、テスト勉強に役立ちます。

⑨　**課題や宿題にしっかり取り組む**…ワークで予習をすると授業での理解が深まります。また、自分の考えや意見をきちんと書くことで、国語の力が身に付きます。

定期考査に向けた取り組み方

⑤ **まとめやプリントを見直す**…自分でまとめたものや授業で配られたプリントには大切なポイントが書かれています。何がポイントだったのか、この文章で読み取ることはどんなことだったのかを考えるのは大切なことです。

⑥　**漢字を確実に覚える**…漢字は覚えれば確実に点数に結びつきます。毎日コツコツ練習しましょう。教材があれば利用しましょう。見るだけでなく書いて身に付けることが重要です。

③　**ワークをしっかり活用する**…ワークは全部解きましょう。苦手な問題も必ず答えを出してみましょう。解いてみなければ解けるようにならないものです。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能…学年に応じた漢字・文法の知識、作品の理解、表現の技能を身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況・内容
思考・判断・表現…文章を深く考える力。文章の要点を把握し、自分の意見を表現する力。他と自分の意見を関連させて考える力。自分の意見を表現する力。それらが身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況・内容
主体的に学習に取り組む態度…今までに学習したことを生かし、取り組む姿勢があるか。学習の見通しをもち、工夫する姿勢と、振り返りを行い、学びを深めようとしているか。	定期考査、提出物の状況　取り組む姿勢

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	世界はうつくしいと 握手 学びて時に之を習ふ 「論語」から 作られた「物語」を超えて 俳句の可能性 俳句を味わう 報道文を比較して読もう グラフをもとに小論文を書く 情報の信頼性 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書 P6～8を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況
2	挨拶――原爆の写真によせて 故郷 和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集　仮名序 夏草――「おくのほそ道」から それでも、言葉を 初恋 論理の展開を整える 聞き上手になろう 俳句の創作 考えを効果的に伝えよう 合意形成に向けて話し合おう 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書P6～8を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況
3	温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで 初日 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書P6～8を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況

３学年　社　会

授業の受け方　☆学びの交差点を参考にしよう！

① 自ら学ぶ姿勢を大切にしましょう。そのために、学習の方法を自ら選択してもらいます。自分に合っている学習方法を見つけ、常に疑問をもち、積極的に学びましょう。
② 学習の見通しを立てましょう。授業や単元の最初に学習する内容の説明をするので、単元の学習の見通しを立てて、取り組みましょう。途中で修正しても構いません。
③ わからないことがあったら、とにかく質問をしよう。先生だけでなくクラスメイトなど誰に聞いても構いません。わからないことをわからないままにすることが一番危険です。

家庭学習のポイント

① その日学んだ内容を５分～30 分で振り返りましょう。最低でも教科書を１読。できる人はその範囲のワークにも取り組んでみましょう。
② ワークの取り組み方として、何回も解き直しができるように、学習ノートを活用しましょう。ワークには直接書き込まないようにしましょう。
③ 時間をかけすぎない。継続できなくなってしまいます。もちろん、社会だけ時間をかけても学習に偏りが出てしまいます。長くても 30 分。

定期考査に向けた取り組み方

① 教科書の範囲をしっかり読み込もう。読んでいてわからない文章があったらすぐ質問しましょう。※質問教室や、教科のチャットを活用しましょう。
② ワークを最低２周はしましょう。１度問題を解いても知識が完全に定着したとは言えません。３周目は間違えた問題のみ取り組むとか、工夫できるとなお良いです。
③ 学んだ内容を、人に説明できるようにしよう。言葉にすることでわからないが明確になり、勉強の見通しが立ち、理解も進みます。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 歴史・公民で取り扱った内容を理解し、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	学期はじめ小テストの状況 単元末テストの状況 定期考査の状況
思考・判断・表現 歴史・公民における課題の解決に向けて思考・判断し、それらを基に議論しているか。	定期考査の状況 探究課題の記載内容 振り返りシートの記載内容
主体的に学習に取り組む態度 より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとしているか。	探究課題の記載内容 学習課題の記載内容 振り返りシートの記載内容

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	【歴史的分野】 第５章日本の近代化と国際社会	・開国と幕府政治の終わり ・明治維新と立憲国家への歩み ・激動する東アジアと日清・日露戦争 ・近代の産業と文化の発展	①②定期テストの状況 ①③単元テストの状況 ①③単元振り返りシートの記載内容 ①②学習課題の記載内容 ②③探究課題の記載内容
	第６章二度の世界大戦と日本	・第一次世界大戦と民族独立の動き ・大正デモクラシー ・恐慌から戦争へ	
	【公民的分野】 第３部　経済 第１章経済活動と私たち	・経済のしくみと消費 ・企業と生産	
2	【歴史的分野】 第７章現代の日本と世界	・日本の民主化と冷戦 ・世界の多極化と日本 ・冷戦の終結とこれからの日本	①②定期テストの状況 ①③単元テストの状況 ①③単元振り返りシートの記載内容 ①②学習課題の記載内容 ②③探究課題の記載内容
	【公民的分野】 第１部　現代社会 第１章現代社会と文化 第２章現代社会をとらえる枠組み	・現代社会の特色 ・私たちの生活と文化	
	第２部　政治 第１章日本国憲法	・民主主義と日本国憲法 ・基本的人権の尊重 ・法の支配を支える仕組み	
	第３部　経済 第１章経済活動と私たち 第２章財政	・企業と経済 ・これからの日本経済	
3	【公民的分野】 第２部政治	・民主正義と私たち ・国の政治のしくみ ・地方自治と私たち	①②定期テストの状況 ①③単元テストの状況 ①③単元振り返りシートの記載内容 ①②学習課題の記載内容 ②③探究課題の記載内容
	第４部　国際 第１章国際社会 第２章課題の探究	・紛争のない世界へ ・貧困解消と環境保全	

３学年　数　学

授業の受け方

① 教科書・ノート・ファイル・問題集が基本の４点セットです。(定規やコンパスも使います。)
忘れ物がないように必ず準備をしておきましょう。
② 他の生徒の意見を聞き、自分の考えの参考にしましょう。また、いろいろな人の意見を取り入れ、自分なりの考え方を見つけていきましょう。
③ 時間のある時には、問題集を進めたり、他の人と学び合い、授業の時間を有効に活用しましょう。

家庭学習のポイント

① 授業のあった日は、教科書・ノート・プリントを見て授業の内容を確認しましょう。
② 時間に余裕のある日は問題集を進め、間違えた問題を繰り返し復習しましょう。
また、注意ポイントを書き残しておくとよいでしょう。
③ 問題集が解き終わったら、もう一度解いてみましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 問題集に何度も取り組みましょう。問題集でわからなかった問題は必ず先生や友達に聞きましょう。ぜひ質問教室を活用してください。
② 計算練習をたくさんしましょう。計算力を上げることで、思考・判断・表現の問題に多くの時間を使えるようになります。
③ 余裕がある場合は授業で扱ったプリントをもう一度もらうなどして繰り返し取り組みましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
① 知識・技能 基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。	定期テスト 単元テスト 再テスト
② 思考・判断・表現 数学的な推論の過程に着目し、論理的に考察し表現しているか、表や式、グラフを相互に関連付けて考察しているか、傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断して、考察しているか。	定期テスト 単元テスト 再テスト 授業の取り組み状況
③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く考え、生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	レポート　再テスト 単元ごとの振り返り ワークの取り組み状況 授業の取り組み状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	1章　多項式 2章　平方根 3章　2次方程式	・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用 ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用 ・2次方程式とその解き方	①②定期テストの状況 再テストの状況、短原末 テストの状況 ②③テスト後のレポート の状況、 ③計画と振り返りの記載
2	3章　2次方程式 4章　関数 y=ax^2 5章　相似な図形 6章　円周角の定理 7章　三平方の定理	・2次方程式の利用 ・関数 y=ax^2 ・いろいろな関数の利用 ・相似な図形 ・平行線と比 ・相似な図形の面積と体積 ・円周角の定理 ・円周角の定理の利用 ・三平方の定理	①②定期テストの状況 再テストの状況、短原末 テストの状況 ②③テスト後のレポート の状況、 ③計画と振り返りの記載
3	7章　三平方の定理 8章　標本調査	・三平方の定理 ・標本調査	①②定期テストの状況 再テストの状況、短原末 テストの状況 ②③テスト後のレポート の状況、 ③計画と振り返りの記載

３学年　理　科

授業の受け方

① **自ら課題を見つけ、仮説を立てて学習に取り組みましょう。**
課題発見→予想→検証という流れで授業は進みます。自分で課題を見つけられるようにしましょう。

② **設定した課題に対する答えを見つけ、説明できるように整理しましょう。**
学習を自分だけで完結するのではなく、内容を人に説明できるように整理しましょう。

③ **他者参照・共有を積極的に行いましょう。**
分からないことがあるときは、人と教えあうこと、協力することが大切です。

家庭学習のポイント

① **家庭学習では、復習に力を入れましょう。**
理科で学習する分野は非常に幅広いです。はじめて学習する単元では、予習してもよくわからないことが多いです。これまで学んだことを関連づけながら繰り返し学習すると理解が進みます。

② **教科書やノートを活用しましょう。**
教科書では、単元ごとの学習内容が記述されています。ノートでは、自分が学習して身に付いた内容がまとめられています。ノートだけで足りない内容、教科書では分かりにくかった表現を見比べることで、自分の学習状況が整理されてきます。

定期考査に向けた取り組み方

① **ワークなど、練習問題を繰り返し取り組みましょう。**
ワークや教科書に載っている問題と、定期考査で出題される問題は似たパターンが多いです。繰り返し学び、パターンに慣れましょう。

② **単語の暗記ではなく、実験の考察を導き出すまでの流れを復習しましょう。**
理科の問題は、仮説をもとに実験を行い、結果をもとにした出題が多いです。単語を答える問題もありますが、その単語の意味や、実験結果からわかることを答えられるようになりましょう。

学習評価について

観点について	評価の方法について
知識・技能 自然に関する原理・法則などを理解し、観察・実験などに関する技能を身に付けているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 パフォーマンステストの状況
思考・判断・表現 自ら問題を見いだし見通しをもって観察・実験などを行い、探究して表現できるか。	ノート、ワークシートの記載内容 定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況
主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。	ノート・ワークシートの記載内容 定期テストの状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	単元1 化学変化とイオン 第1章　水溶液とイオン 第2章　酸・アルカリとイオン 第3章　化学変化と電池 単元2 生命の連続性 第1章　生物の成長と生殖 第2章　遺伝の規則性と遺伝子	◎電離・電解質 ◎電気分解 ◎酸・アルカリ ◎中和と塩 ◎化学電池 ◎イオン化傾向 ◎体細胞分裂 ◎減数分裂 ◎生殖 ◎遺伝	①②③定期テストの状況 ①②小テスト、単元テストの状況 ②③ノート、ワークシートの記載状況 ①パフォーマンステストの状況
2	単元2 第3章　生物の多様性と進化 単元3 運動とエネルギー 第1章　物体の運動 第2章　力のはたらき方 第3章　エネルギーと仕事 単元4 地球と宇宙 第1章　地球の運動と天体の動き 第2章　月と金星の見え方	◎脊椎動物の進化 ◎進化の証拠 ◎等速直線運動 ◎速さが変化する運動 ◎力の合成と分解 ◎慣性、作用・反作用の法則 ◎浮力 ◎力学的エネルギー ◎仕事の原理 ◎日周運動 ◎年周運動 ◎季節の変化 ◎月と金星の見え方	①②③定期テストの状況 ①②小テスト、単元テストの状況 ②③ノート、ワークシートの記載状況 ①パフォーマンステストの状況
3	単元4 第3章　宇宙の広がり 単元5 地球と私たちの未来のために 第1章　自然のなかの生物 第2章　自然環境の調査と保全 第3章　科学技術と人間 終章　持続可能な社会のために	◎太陽系の天体 ◎銀河 ◎生態系 ◎食物連鎖 ◎炭素の循環 ◎環境調査 ◎科学技術の利用 ◎持続可能な社会	①②③定期テストの状況 ①②小テスト、単元テストの状況 ②③ノート、ワークシートの記載状況 ①パフォーマンステストの状況

3学年　音楽

授業の受け方

① 音楽の授業の基本は、「聴く」ことです。音楽に耳を傾け「聴く」、先生の話を真剣に「聴く」ことです。そこから音楽の深い世界に入っていきましょう。
② プリントの記入は、自分なりによく考えて、丁寧に記入しましょう。
③ 歌うときには表現の意図をもち、恥ずかしがらずに自分なりの表現を心がけましょう。
④ 持ち物は、教科書、コーラスフェスティバル、ファイル、筆記用具の４点セットです。プリントファイルを失くした人は、自分で用意してください。

家庭学習のポイント

① ジャンルを問わずいろいろな曲を聴いて心を耕してください。
折に触れ「知覚」と「感受」を関連付けた聴き方をしてみてください。
② 楽器を習っている人は、たくさん練習をして上達してください。
③ 音楽は“心”で感じるものです。心を耕すために、読書や映画、絵画など質の高い芸術に親しみましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 定期考査は学期ごとに１回ずつ、年間で３回行います。また、実技テスト（歌のテスト）を原則学期に１回行います。
② 授業で扱ったプリントを、教科書や楽譜（コーラスフェスティバル）と照らし合わせて復習してください。
③ 定期テストと日頃の授業の取り組み（プリントや実技テスト）を５：５で評価します。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 曲想や音楽の構造、背景などとの関りを理解する。 音楽表現を創意工夫したり音楽の良さを味わって聴く能力を身に付ける。 音楽表現を生み出すための発声や発音などの技能を身に付ける。	日頃のプリントの記載内容 定期考査の状況 実技テストの状況
②思考・判断・表現 音楽を形づくる要素を知覚し特徴や雰囲気を感じ取る。曲の表現を工夫し自分の考えをもつ。 音楽の特徴や感じたことを自分の言葉で表す。	日頃のプリントの記載内容 定期考査の状況
③主体的に学習に取り組む態度 楽や音楽文化に親しめるよう、音楽活動を楽しんで取り組んでいる。音楽活動に粘り強く取り組み、自己調整しながらより良い音楽を求めていこうとしている。	日頃のプリントの記載内容 授業への取り組み状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	歌唱 鑑賞 合唱コンクールの 取り組み	花 帰れソレントへ 「ブルタバ」 課題曲「大地讃頌」 自由曲決め	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト ・定期テスト
2	創作 鑑賞 合唱コンクールの 取り組み	音の特徴や重なり方、構成を 工夫したリズムアンサンブル オペラ「アイーダ」 課題曲「大地讃頌」 自由曲	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト ・定期テスト
3	合唱コンクールの 取り組み	課題曲「大地讃頌」 自由曲	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト

3学年 美 術

授業の受け方

① **先生が全体に話す時は前を向いて顔を上げ、静かに話を聞きましょう。**
美術の授業は制作がメインですが、話しを聞いていないと何をやるのかわからなくなってしまいます。制作中であれば一度手を止めて、しっかりと話を聞きましょう。

② **不必要な立ち歩きはしない。**
教室の前後に貸し出し用の用具を準備しています。それらを取りに行ったり、水を取り替えに行ったりすること以外で席を離れる場合は、必ず先生に声をかけてください。

③ **丁寧な制作を心掛ける。一生懸命取り組む。完成させる。**
美術の能力の一部は授業中に制作を積み重ねていくことで確実に向上します。また、素早く作業を終えれば良いというわけではありません。丁寧に、全力で取り組みましょう。

家庭学習のポイント

① **視野を広げましょう。**
美術館へ行く、画集を読む、映画を観る、音楽を聴く、読書をする、新聞を読む等、知識を身に付け視野を広げることを何かしらしてください。発想の幅が広がります。

定期考査に向けた取り組み方

① **定期考査は、観点 1(100)、観点 2(100)の 200 点中 50 点分として扱います。**
制作だけではなく、試験の点数もしっかり取れるよう勉強してください。また、『漢字で書きなさい』という問題が出る場合もあります。テスト範囲の内容は漢字まで覚えるようにしてください。

② **描く課題が出る場合もあります。**
知・技を問う問題であれば、テスト前に自分でもう一度やり方を確認し、最低 1 回は描いてみてください。思・判・表を問う問題は視野を広く持つことが大切です。『家庭学習のポイント』をヒントにし、日々、発想力を高めておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
思考・判断・表現 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりすることができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
主体的に学習に取り組む態度 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 授業中の取組状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	[絵画] 「静物デッサン」	・静物の形態や配置、光の当たり方を観察し、ラフスケッチを通じて構図やバランスを検討する。本番の画面では、全体の形を正確に捉え、大まかな明暗をつけることで、量感や立体感の基礎を意識した描写を行う。	①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroomの記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況
2	[絵画] 「静物デッサン」	・継続的な観察を通して対象の特徴理解を深め、明暗の幅や調子の変化、質感の違いなどを丁寧に表現する。全体と部分の関係を意識しながら描写を進め、より自然で存在感のある画面構成へと発展させる。	①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroomの記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況
3	[彫刻] 「大切なもの」	・『大切なもの』をテーマに、グループで発想・構想を行い、空間構成を工夫したボックスアートを制作する活動を通して、立体表現の基礎や協働的な表現の力を育成するとともに、互いの価値観の違いに気付き、表現の意図を伝え合う力を養う。	①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroomの記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況

３学年　保健体育

授業の受け方

① 声と身体を大きく使い、基礎体力と運動技能を高めましょう

毎時間行うウォーミングアップ（集団走・体操・補強）で基礎体力をつけ、様々な運動種目の技能を高めることで、運動やスポーツを本気で楽しめるようにします。

② 仲間とたくさん話し合い、アドバイスし合いましょう

どの運動種目においても、仲間と協力することがとても大切です。身に付けた知識をもとにお互いの運動を観察し、意見を出し合い、深めていきます。

③ 授業をしっかりと振り返って記述しましょう

めあてに対して、自分や仲間の取り組みはどうだったかを振り返って学習カードに書くことで、自分の考えをまとめていきます。具体的に記述することが大切です。

家庭学習のポイント

運動やスポーツを楽しいと思えることが大切です。また運動やスポーツには「する」「みる」「支える」「知る」といった楽しみ方があります。自分にあった楽しみ方を見つけましょう。

定期考査に向けた取り組み方

①「中学体育実技」をよく読み、各運動種目の歴史や文化、特性を確認しておいてください。

②各運動種目のルールについては、授業中のゲーム内の取り組みと併せて、「中学体育実技」に記載されている公式ルールや正式名称も確認してください。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 運動の楽しさや喜びを味わい、その必要性を理解し、基本的な技能を身に付けているか	授業への取り組み 技能テスト 単元テストなど
②思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝える力を身に付けているか	授業への取り組み 話合い・ペア活動 学習カード・レポートなど
③主体的に学習に取り組む態度 公正に取り組み、互いに協力し、自己の責任を果たしたり参画したりしようとしているか	授業への取り組み 学習カード

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	体つくり運動 陸上競技 マット運動 水泳 体育理論 保健	新体力テスト 短距離走、リレー 側方倒立回転 技の組み合わせ クロール、平泳ぎ 背泳ぎ 運動やスポーツが心身及び社会性に及ぼす効果 環境	実技テスト 学習カード、レポート、 期末考査
2	ゴール型　球技 武道　　柔道 陸上競技 ネット型　球技 体育理論 保健	フラッグフットボール 礼法、受け身、固め技、投げ技 長距離走 バレーボール 文化としてのスポーツの意義 感染症について	実技テスト、学習カード 期末考査
3	ゴール型　球技 ゴール型　球技 体育理論 保健	バスケットボール サッカー 文化特性や現代のスポーツの発展 健康な生活と疾病の予防	実技テスト、学習カード 学年末考査

３学年　技　術

授業の受け方授業の受け方

① 「安全が第一優先」を心がける。

木工室・金工室にはたくさんの機械や工具が置いてあります。正しい使い方をすれば便利なものですが、使い方を誤ると大きな事故や怪我につながります。特に実習時は、安全を最優先に授業を受けるようにしましょう。

② 授業中の私語はつつしむ。

教室と違い、向かい合わせの机で授業を受けます。となりや向かいの人との距離がとても近い環境です。授業に関係のないおしゃべり等で、周りに迷惑をかけないようにしましょう。ただし、作業時は、仲間とコミュニケーションをとりながらの授業で大丈夫です。

③ 時間を守る

基本、木工室が金工室で授業を行います。教室移動となるので、チャイムが鳴った時には必ず自席に座っていることを心がけましょう。

家庭学習のポイント

① 特に家庭学習を行う必要はありません。

ものづくりや電気の知識また情報を扱い方等、学習した内容を家庭生活に生かしていきましょう。長期休業時に出題される課題は、必ず自分の力で行ってください。

定期考査に向けた取り組み方

① 授業で説明した内容が試験範囲となります。試験前にノートや配布されたプリントを中心に復習しておく。作業についての問題も出題されることもあります。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
①知識・技能 情報の通信の仕組みや安全に利用するための情報モラルを理解できているか。ものづくりで自分の使用目的にあった作品を製作できているか。	・定期考査の状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容 ・作品の完成度
②思考・判断・表現 自分の工夫やアイディアを取り入れた作品を製作し、製作の過程や結果の評価･改善について考えているか。また、環境条件を考えて栽培の過程や結果の評価･改善について考えているか。	・定期考査の状況 ・作品に対する工夫やアイディアの状況 ・授業中の取組状況 ・ワークシートの記載内容
③主体的に学習に取り組む態度 主体的に技術に関する知識技能を身につけ、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために、意欲的に授業に取り組んでいる。	・定期考査の状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容 ・作品の完成度

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	材料と加工の技術	ペンスタンド製作 材料取り 部品加工 組み立て 仕上げ(塗装)	③授業観察 ①製作作品 ①②プリント(ワークシート)
2	生物育成の技術	生物育成の技術の原理・法則と仕組み 作物の栽培	②③振り返りシート ①②定期考査
3	・情報の技術 情報技術の原理・法則と仕組み	双方向性のあるコンテンツのプログラミング コンテンツのプログラム制作 計測・制御システムのプログラム制作	③授業観察 ①②プリント(ワークシート) ②③振り返りシート ①②定期考査

３学年　家庭科

授業の受け方

① 通常の持ち物は教科書と家庭科ノート（ワーク）です。準備して着席しましょう。

② 学習内容をしっかりノートや配布プリントに記入し、日常生活で実践することを念頭に入れて学んでいきましょう。

③ 授業は常に誠実に取り組み、質問や発表を積極的にしていきましょう。

家庭学習のポイント

① 宿題が出たときは忘れずに。また、提出日を守りましょう。

② 教室・調理室・被服室で学んだことを理解し、更に家庭で実践してみて、知識・技能を確かなものにしていきましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 教科書、ノート、プリントを復習し理解して、大事なところは覚えておきましょう。

② 調理や制作実習がテスト範囲の場合、調理・制作方法やその過程をよく理解しておきましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
① 知識・技能 自分たちの家族や幼児について理解し、生活の自立に必要な知識・技能が身についているか。	定期テストの状況、 幼児のおやつの実技テスト
② 思考・判断・表現 生活の自立に必要な知識・技能を習得し、考察して的確に表現する力が身についているか。	ノートの記載内容、配布プリントの記載内容 定期テストの状況、授業中の取り組み状況
③ 主体的に学習に取り組む態度 制作や調理などの活動の楽しさを実感して懸命に取り組み、生活に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとしたりしているか。	実習の反省レポートの記載内容、 ノートの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況 作品の出来ばえと提出状況

年間学習評価計画

月	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
4 5 6 7	幼児の生活と家族 ①幼い頃の振り返り ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④幼児の１日の生活 ⑤支えられて身につける生活習慣 ⑥幼児の生活と遊び ⑦作って楽しい幼児のおもちゃ	・幼児の発達と生活の特徴、家族の役割について理解する。 ・幼児の遊びの意義や幼児とのかかわり方について理解する。 ・幼児の興味や発想を大切にしたおもちゃについて課題を設定し、課題解決に向けて製作し、一連の活動について考察したことを表現している。	定期テストの状況、 ノートの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況
9	幼児、衣生活、環境 生活の課題と実践	・幼児の生活や衣生活、消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現する。	レポート
10 11	幼児の生活と家族 ① 幼児との関わり方の工夫 ② 幼児との関わりを生活に生かす ③ 子どもにとっての家族	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫する。	定期テストの状況、 幼児のおやつの実技テスト ノートの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況
12 1 2 3	持続可能な家庭・地域生活 ① 家族との関わり ② 家族や地域の高齢者との関わり ③ 地域での協働を目指して ④ 家庭分野の学習を終えて	・家族の協力と家族関係について理解する。 ・家庭生活と地域との関わり、高齢者とのかかわり方について理解する。 ・家族関係をよりよくする方法及び地域の人々と協働する方法の工夫について考察する。	ノートの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況

３学年　英　語

授業の受け方

① 指示された授業道具を忘れずに持ってきましょう。教科書、ノート、ワーク、ファイル、タブレットといろいろな道具を使います。タブレットは充電しておきましょう。
② 英語の発音や音読、コミュニケーション活動、発表活動、パフォーマンステスト等に、積極的に取り組みましょう。授業は「聞く」のではなく、「参加」することが大事です。
③ 授業用ノートの予習、ワークでの復習、プリントの課題などの家庭学習をすることで、授業の理解が進みます。

家庭学習のポイント

① 宿題をやりましょう（授業用ノートに予習、ワークで復習、教科書の音読など）。
② デジタル教科書を使い、教科書の音読をしましょう。（１ページ最低一回→ESAT-J につながります。）
音読練習アプリ Quimee を効果的に活用しましょう。
③ 習った単語や文は、とにかく覚えましょう。言えるようになったら、書けるようにしましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 教科書の単語、文など聞いたり読んだりしてわかるように練習しましょう。
デジタル教科書、ワークのデジタルコンテンツ、Web テストなどを活用しましょう。
② ワークを繰り返しやりましょう。
ワーク本体に書きこまず、付属ノートを使用して複数回取り組みましょう。
③ 習った単語や文を使い、自主学習ノートに書いて練習しましょう。
英文はいきなり書けるようにはなりません。繰り返し練習し、使えるようにしましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 文法や語彙などを理解し、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝで活用できる基礎的な技能を身に付けているか。	定期考査の状況、パフォーマンステストの状況、小テストの状況、スペリングコンテストの状況、web テストの状況、プリント記載内容など
思考・判断・表現 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを行う目的や状況などに応じて、自分の考えなどを的確に表現したり伝え合う力を身に付けているか。	定期考査の状況 、パフォーマンステストの状況、プリント等の記載内容、英作文記載内容、授業での活動状況など
主体的に学習に取り組む態度 主体的にｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとするため、粘り強く取り組み、自分で過程を振り返ったり、振り返って評価・改善しようとしたりしているか。	単語テストなどの小テストの点数の状況、音読アプリへの取り組み状況、ふり返りシート記載内容、授業用ノートなどの記載内容、パフォーマンステストの状況、授業での取り組み状況など

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	Unit 0 Discover a New Side of Classmates Unit 1 What is special about Japanese culture? Unit 2 How do you choose your clothes? Unit 3 How can we save animals? Stage Activity 1 Discover Japan Let 's Read 1 A Mother's Lullaby	 現在完了形(経験用法) <make＋(代)名詞＋形容詞> <SVOO(that 節)> 現在完了形(完了用法) 現在完了形(継続用法) 現在完了進行形 <It is ... (for＋人など)＋to＋動詞の原形> <want＋人＋to＋動詞の原形> <let[help]＋(人など)＋動詞の原形> 日本や郷土の文化について 広島原爆の物語を英語で読み取る	①スペリングコンテスト 定期テスト、小テストなど ②定期テスト パフォーマンステスト 英作文記載内容など ③振り返りシート 授業用ノート・ワーク パフォーマンステスト 授業での取り組み状況など
2	Unit 4 How can we help each other in a disaster? Unit 5 What makes a good leader? Stage Activity 2 My Activity Report Unit 6 What does it mean to be a global citizen?	間接疑問文 <動詞＋(人)＋what などで始まる節> 過去分詞 現在分詞 名詞を修飾する文 関係代名詞 who 関係代名詞 that[which](主格) 関係代名詞 that[which](目的格) 取り組んできた経験の活動報告 仮定法(I wish ...) 仮定法(If＋主語＋were ..., ～.) 仮定法(If＋主語＋動詞の過去形, ...) 主語を説明する関係代名詞	①スペリングコンテスト 定期テスト、小テストなど ②定期テスト パフォーマンステスト 英作文記載内容など ③振り返りシート 授業用ノート・ワーク パフォーマンステスト 授業での取り組み状況など
3	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate Let's Read 2 Power Your Future Let's read 3 Coloring Outside the Lines	主張とその理由を用いての議論 エネルギー問題に関する説明文を英語で読み取る ある人物の生涯について英語で読み取る	①スペリングコンテスト 定期テスト、小テストなど ②定期テスト パフォーマンステスト 英作文記載内容など ③振り返りシート 授業用ノート・ワーク パフォーマンステスト 授業での取り組み状況など